

## 「みつけた形」を木質角材で集成し彫刻する

美術教育講座・向川信博

### 1. 「みつけた形」を彫刻することについて

身の回りにあるものや捨てられていた人工物を拾い多少加工して提示する行為は、ダダイズムとかシュールレアリズムの人たちが、手段として行ってきた。

ヘンリー・ムーアの「みつけたオブジェ」という手法もこの方向にあるが、そのみつけたものは、もっぱら、骨、石、木の根や枝といった自然物である。そして、その自然物を単にコピーするのではなく、石膏を付け加えたり削ったりして、エスキースを制作し、彫刻の着想を得ている。

本授業はこの手法をもちいて、エスキースを制作し、集成した木質角材を均衡感や量感を強く意識しながら彫刻する制作実習である。

### 2. 授業の目的

- ・量感を考える。
- ・均衡感を考える。
- ・空間を意識する。
- ・自然観察をする。
- ・形を見つける。
- ・木質材料の特徴を把握する。
- ・鑿や鋸の構造を知る。
- ・鑿を研ぐ。
- ・木を彫刻する。
- ・塗装を考える。
- ・道具の保守をする。

### 3. 授業の内容

- ・自然観察、採集
- ・イメージデッサン、エスキース制作
- ・木質材料の特徴把握
- ・鑿や鋸などの保守
- ・制作終了時ごとに出る木くずの廃棄など、準備と片付けを含めた制作
- ・取り組みについての自己評価、講評

### 4. 授業の計画及び経過など

#### 第1回 「みつけた形」と、木彫について

- ・イメージ造りの方法
- ・エスキース制作観点

#### 第2回 自然観察と採集

- ・場所：重信川（東温市）
- ・日時：10月15日、10時30分～12時

#### 第3回 イメージデッサンとエスキース制作

- ・「みつけた形」（採集した小石や流木等）を基にして
- ・付け加える材料：油土、紙粘土、針金、石膏等
- ・イメージの明確化

#### 第4回 エスキース制作とプレゼンテーション

- ・作品の大きさ（縦・横・高さの合計90cm程度）
- ・合評（問題点を明らかにする）
- ・設置方法の検討と、材料調達について

#### 第5回 木取り、寄せ木材料出し

- ・楠木をチェーン鋸にて切り出す
- ・面出し（底面+1）
- ・1面（前面）に作品のアウトラインをひく
- ・鋸をいれる（木目になるべく直角にアウトラインまで、5～6cmの間隔で）

#### 第6回 鑿を研ぐ

- ・粗砥、中砥、仕上砥について
- ・鑿の動かし方（前後にゆっくり、細かく、砥石の全面を使って）
- ・電動砥石、布バフの使い方

#### 第7回 彫刻

- ・鋸を入れたところまで、丸鑿にてはつる
- ・側面に作品のアウトラインをひく

#### 第8回 彫刻

- ・鋸をいれる（木目になるべく直角にアウトラインまで、5～6cmの間隔で）

#### 第9回 彫刻

- ・鋸を入れたところまで、丸鑿にてはつる

#### 第10回 彫刻

- ・前面と側面の間を、塊を意識した面にする
- ・同じように、側面と後面の間を、塊を意識した面にする

- 第 11 回 平鑿、丸鑿、鑿等でタッチを考える  
 第 12 回 細部説明  
 第 13 回 台座制作  
 ・台座の素材を考える  
 ・鬼目ナット、ステンレスパイプ、ボルトを使用しての取り付け  
 第 14 回 塗装  
 ・オイルステインの拭き上げ  
 第 15 回 合評・総括

#### 5. 用具・材料について

- ・エスキース制作用の油土、針金、石膏等は用意されている。
- ・鑿、砥石、木槌、木彫用万力は用意されている。
- ・今回は構内にあった楠木の提供をうけた。
- ・今回は角材集成の寄せ木造りの取り組みはなかった。

#### 6. アンケートについて

授業の最終回に以下の項目で自由記述によるアンケート調査をおこなった。

- ①自身の取り組みについて、②授内容について  
 ③今回の授業で学んだこと、それを今後どのようにいかすか、④その他。

#### 7. アンケート結果（受講生が記述した文章を転記する）

##### ①自身の取り組みについて（研究状況、取り組み姿勢など）について

- ・積極的に取り組むことができた。
- ・順調に進めることができた。
- ・ゆるやかな曲面をだすことの難しさを感じた。
- ・本制作になかなか進めなかった。
- ・自分には、もう少し時間が必要だった。
- ・エスキースの制作から本制作と段階を踏むことで、ほぼ自分のイメージに近づくことができた。
- ・集中して取り組むことができた。
- ・素材の表情を感じることができた。
- ・遅刻が多かったです。すみません。

##### ②授業内容について感じたこと

- ・自然を観察して、自分の感覚に合った形を見つける「みつけた形」は大変おもしろかった。
- ・モデリングとカービングは、考え方を変える必要があるなど、おもしろく思った。
- ・素材のことや道具のこともわかってなくて、大丈夫なのかと思ったけれど、やっていると木を彫る作業は楽しかった。

##### ③今回なにを学び、それを今後どのように生かしたいか

- ・木の表情。
- ・鑿の使い方と、研ぎ方。
- ・素材それぞれが持っている表情を感じることができました。
- ・とても魅力的な素材だと思いました。
- ・木を彫る事の楽しさは、思った以上だった。
- ・計画をたてることの大切さ。
- ・木を扱うことの楽しさ、難しさ。

##### ④その他

- ・1時限目から、のみをふるう作業は大変だったので、2時限からにしてほしいです。

#### 8. 作品

